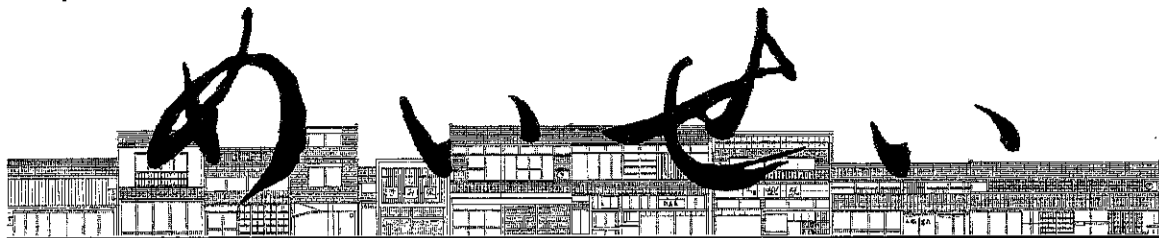


http://www.e-meisei.net

No. 68

発行 (公社)愛知建築士会名古屋西支部
編集 広報渉外委員会
名古屋西支部西一丁目20番49号 クラ設計内
TEL(052)908-0939 FAX(052)908-0836
印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227



名古屋西支部総会報告

高倉 康人

去る4月18日ホテルサンルートプラザ名古屋において、平成25年度の支部通常総会が、出席者114名(委任状含む)にて開催されました。志賀勝則副支部長の司会にて、原英光青年委員長の開会の言葉の後、牛田信彦支部長より挨拶として、昨年度の支部事業への会員に対する謝辞、25年度は建築士の和を広げる支部活動への協力の依頼がありました。続いて来賓の(公社)愛知建築士会会長佐藤東亜男様より、西支部の总会活動支援へのお礼と、今年度も会員増大推進特別委員会を継続し会員数増大への協力依頼、東海北陸ブロック7県のうち石川と福井を除く5県が公益社団法人となったことの報告がありました。引き続き議長に伊藤顯副支部長が指名され議事審議が進行し、第1号議案(事業、収支決算)、第2号議案(事業計画、収支予算)とともに異議無く拍手多数により承認されました。報

告事項として、牛田信彦支部長より本会役員と支部役員との改選任期が1年ずれていたため、西支部は本年度役員改選ですが、調整として任期を1年延長としたこと、また、現状青年委員会対象40才までの会員数が8.87%と減少しており、年齢上限を45才に変更することで、今後も青年委員会の事業活動の活性化に期待していくことが役員会で決定した旨の報告がありました。

総会終了後、会場を移して賛助会員及び会報「めいせい」に広告協賛を頂いている会社の担当者を交え懇親会が行われました。会半ばには連合会表彰を受けられた山田正博氏に花束の贈呈が行われるなど盛り上がった交流の場が持たれ、最後は中島鐘重氏による一本締めで終了となりました。

今年度は任期調整の不定期な1年となりますが、会員の皆様にご参加いただける恒例の研修勉強会

及び見学会、青年委員会による事業が開催されますので、活発な西支部事業を会員皆様のご参加で支えて頂きますようお願い申し上げます。



総会の様子

総務企画委員長挨拶



今年度活動予定
高倉 康人

前任の鏡氏より平成19年に総務企画委員長を申し受けてから、今年度で7年目となりました高倉康人です。思えば委員長就任当初は中村順吉氏におんぶに抱っこで、本格的な役割を申し受けたのは就任2年目の途中からでした。平成22年には支部創立20周年及び建築士会の公益社団法人への移行という大きな事業も、会員の皆様のご協力を頂き無事に乗り越えることができました。

本来ならば今年度は役員オリエンテーション及び支部会員名簿発行と総務企画としては多忙の年なのですが、通常総会で御案内がありましたように、本会との任期調整のため、谷間の1年となります。この期間を利用して本会ホームページのリニューアルに伴い、若手委員の育成に力を入れつつ支部ホームページの充実を図って行きたいと思っています。

思えば平成14年に松浦委員長の下、IT特別委員会の一員として支部ホームページ立上げ及び、名簿のデジタル化に参加してから既に10年が経ちました。当初は試行錯誤の中で立ち上げた支部ホームページも、最近はブログやfacebook等とのリンクによる情報の共有、スマートフォンやタブレットの急速な普及により、見る側の環境が若い世代を中心に大きく変化しています。現在、建築士会として会員増大を目指す中で、ホームページからの入会申し込みは西支部は支部の中ではトップクラスです。今後も情報発信の場として、又支部会員の皆様に利用して頂きやすい役立つホームページを目標に、若手の意見を取り

入れながら頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。又、支部会員でホームページをお持ちの方は、事務局までご連絡頂ければ支部ホームページにリンクを張らせて頂きます。

研修委員長挨拶

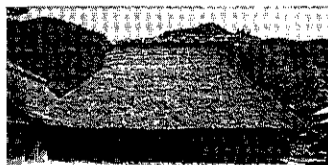


今年度活動予定
牛田 清文

今年1年引き続き研修委員長を担当することになりましたのでよろしくお願い申し上げます。行事は前年度に習い、2回の勉強会と2回の見学会を行います。勉強会の内容は検討中ですが、見学会の企画は決めております。

詳しくは7月に、ご案内を発送致しますが概略をお知らせします。9月7日に清須市内の国指定登録文化財「柴田邸」の見学と10月19日に秋の神戸日帰りバスツアーです。見学する所は、木造建築の高度な技術と優れた職人の技能が展示された「竹中木工道具館」・「神戸港震災メモリアルパーク」・阪神・淡路大地震の災害状況と対策が展示された「人と防災未来センター」・箱木千年家と言われ日本最古の民家の一つで国重要文化財にも指定されている「箱木家住宅」を見学します。昼食は神戸南京町の中華街を予定しています。今年度の見学は、木造建築の原点を学ぶことと、東海・東南海地震に対して地震防災対策を考えたいと思います。

ご参加をお願い申し上げます。



箱木家住宅

広報渉外委員長挨拶



今年度活動予定
牧野 正

今年度から広報渉外委員長を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

広報渉外委員会の一番大きな仕事は「めいせい」の編集、発行です。当誌は平成2年に支部が創立された時から、各種の事業活動や報告等を、支部会員の皆様に情報として連絡すべく、支部ニュースとして発行されています。創刊号から、年3回のペースで発行されて、今回で68号になりました。「めいせい」を見れば支部の活動、出来事の歴史を振り返ることができます。支部のホームページには、創刊号から掲載がしてありますので、興味のある方は是非一度ご覧下さい。

「めいせい」の記事は(公社)愛知建築士会名古屋西支部会員の皆様に支えられています。建築士の職務に関する情報だけでなく、支部会員の「個」の人柄が伝わるような記事も盛り込んでいきたいと思っています。今後も、皆様に記事の執筆を依頼させていただくことがあると思いますが、どうぞご協力お願い致します。

また、電子書籍が中心となりつつある昨今ですが、広報誌としての役割を忠実に果たす必要性から、今後も紙ベースで発行していく予定です。

西支部の歴史書でもある「めいせい」の発行に携る事は、身が引き締まる思いがします。皆様に、発行を楽しみにして頂けるよう尽力したいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

国土交通省大臣認定 建築技術性能証明 建築技術性能証明

SMD杭 スーパーミニドリル
造園 外構工事・公共工事

DM工法 SMD杭工法シリーズ
地盤調査・地盤改良

HITSコラム スラリー系機械攪拌式 深層混合処理工法
SMD杭製造・販売 石材加工・販売

株式会社 本陣
〒461-0048 名古屋市東区矢田南三丁目13番7号
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311
E-mail info@honjin.co URL http://www.honjin.co

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事
集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

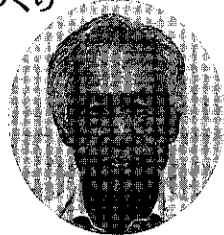
豊かな環境を創造する テレビ愛知毎週土曜PM6:30 「ホットチャンネル」CM提供中

株式会社 **ムラテ** URL http://www.murate.com/
〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

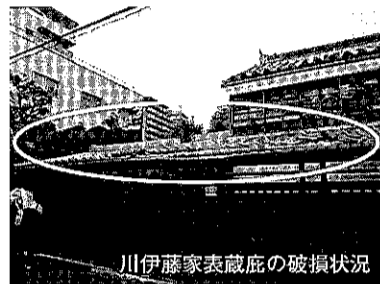
美濃路ウォッチング

四間道・那古野界隈まちづくり協議会報告

平成25年4月23日(火)円頓寺本町商店街にある「わや食堂5階」において、第6回協議会が開催された。新年度となり、行政担当者が大幅に入れ替わり、ことに西区役所では区民生活部長を除き、まちづくり推進室長、同主査、同主事が、本庁その他でも6名のうち4名が替わり、自己紹介から始まった。住宅都市局まちづくり企画課地域まちづくり係長から、「今年度の目標として、この地域の課題、魅力をまとめていただきたい。市役所内でも注目している。世界の四間道・那古野を目指して頑張ってください。」との挨拶があった。各団体の活動報告のあと、川伊藤家の表蔵を飲食店として活用する計画について議論され、美濃路と堀川を繋ぐ通路の確保、現在の下屋付切



白井 遼造

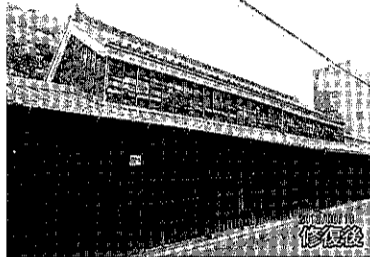


川伊藤家表蔵庇の破損状況

妻平入の町並みを守るなどの意見が出された。歴史まちづくり推進室からは、銀座街づくり会議における銀座デザイン会議の活動について、「建築確認申請前に一定規模以上の開発計画および工作物について、開発業者と協議を行いながら、銀座の街にふさわしい計画を模索する、“要項行政”が効果を発揮している。」との報告があった。

5月15日(水)四間道浅間神社において第7回協議会が開催された。前回、川伊藤家の表蔵活用について議論された内容がまとめられ、今後協議会で「四間道・那古野界隈まちづくりルール」的なものを定める。今後も起こりうる景観・デザイン等の問題が出た際に、会の総意として働きかけられる組織を目指すことが提案された。

会議のあと、四間道界隈まち歩きが実施され、街の再発見を目指した。問題となっている川伊藤家表蔵の下屋庇、軒先部分の瓦が4~5Mにわたり破損しているのを発見。通過車両による破損と思われる、市が調査することとなった。



6月18日(火)「わや食堂5階」において、第8回協議会が開催され、前回報告、川伊藤家表蔵の下屋庇破損箇所修復報告、各団体活動報告のあと、名古屋都市センターから「那古野小学校跡地利用計画試案」が示された。その後、今回のテーマ「防災」について議論された。

美濃路まちづくり推進協議会総会開催

5月22日(水)清須市新川体育会館会議室において総会が開催された。会員13名の出席。清須市から企画政策係長 岡田善紀様の来賓挨拶のあと、24年度事業報告、決算報告、監査報告があり承認された。

25年度事業計画案、予算案について承認。5号議案では役員が改選された。常任委員に渥美大作氏、監査に中島鐘重氏、前会長の中村順吉氏は体調不良のため監査を下り、オブザーバーとして残っていただいた。

「ものづくり文化の道」推進協議会開催

5月30日(木)西区役所会議室において、平成25年度第一回会議が開催され、今年度の活動計画が示された。「ものづくり文化の道」マップの増刷、「西区フリモ」に美濃路特集掲載報告。平成18年作成の「ものづくり文化の道」ガイドブック改訂版の作成。五条橋西岸にある案内表示板に美濃路を入れることを検討中などの報告があった。

尾張西枇杷島まつり

平手 公基

例年より10日以上も早い梅雨入り宣言のなか幸い天候にも恵まれ、6月1、2日の日程で、清須市西枇杷島町の美濃路にて尾張西枇杷島まつりが催されました。このお祭りは、名古屋東照宮の祭礼の形態を引き継ぐ由緒正しい江戸時代から続く歴史あるものだそうです。去年まで機会を逃していましたがこの度初めて行ってきました。



みのじの館内

名鉄西枇杷島駅を降りるともう祭りの空気でした。群衆に続いて歩いていると美濃路に辿り着きました。

美濃路はぎっしりと並ぶ露店と途切れなく歩く人々で賑わっていました。みのじの館までの道中、町内毎に立派な山車が披露されていました。曳きまわしは見逃しましたが、みのじの館のはす向かいでは西六軒町の紅塵車の山車が、からくり人形の芝居を披露していました。芝居の内容は分からなかったのですが、和太鼓、囃子の笛の生演奏の音がとても心地よく感じられました。



尾張西枇杷島まつり実行委員のみなさん

みのじの館では青年委員会企画の美濃路の写真展が行われました。写真を通して美しい町家建築の残る美濃路の魅力を再認識しました。その傍らでは持ち寄りの料理やお

酒がふるまわれ、建築士会の仲間をはじめ、「美濃路つながり」で教育、行政、商工会、各方面の関係者の方との貴重な出会い、堅苦しくない和気あいあいとした楽しい交流、有意義な意見交換もできました。みのじの館の座敷から連子格子越しに通りをぼんやり眺めていると、大昔からここをこうやって多くの人が往来したことに思いを馳せました。目の前の通りを織田信長が通って桶狭間へ行ったのかなと想像したり。そんな歴史ある街道。今回このような機会を通して関わることができ、美濃路を一層身近に感じられるようになった初夏の一夜となりました。



まちづくり交流会の様子



『構造設計者の集い』に参加しませんか

江口 眞樹

多くの構造設計者の仕事は孤独なものです。組織に属していれば、仲間と相談することができますが、個人で設計をしている場合はなかなかそうもいきません。問題に行き当たったときや、未経験の構造設計を行うときなどには、いろいろな情報を得ようと、

参考文献やインターネットの助けを借りることになります。しかし、思うような解答が得られなかったり、得られたとしても多大な時間を費してしまったりということが往々にしてあります。そういった悩みを解決するために、構造設計者に横のつながりをもたせ、お互いの知識の向上と情報の共有、また親睦を深めたいという思いから、4年前に『構造設計者の集い』は発足しました。

現在は、西支部を中心に約10名ほどが参加し、年に10回程度、勉強会を開いています。構造設計の最近の動向、確認機関の指摘傾向やその対処方法などの情報

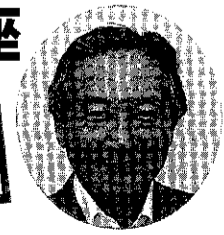
も交換しあっています。理不尽な指摘に対しては、この場でこきおろし、溜飲を下げたりしています。

『構造設計者の集い』では随時、会員を募集しています。気軽な会ですので構造設計初心者の方もぜひ参加してください。また西支部会員である必要はありません。現在も海部・津島支部や春日井支部からの参加者がいます。構造設計に関わる方なら、どなたでもOKです。

●連絡先 メールアドレス
eguchi.struc-office@zm.commuja.jp 江口 眞樹
お待ちしております。

防災出前講座

今年度活動予定
牛田 信彦



名古屋西支部の地域貢献活動として、昨年度に引き続き清須市立全ての小学校で、地震防災出前講座を実施します。市内にある8小学校の5年生を対象に、授業の2時間を使い生徒たちに教えます。

1時限目(約40分)は、愛知県とあいち耐震まちづくり教育枠組み検討委員会で発行した教科書「いのち

を守る家の「たいしん」と映像を組み合わせ、授業を進めます。2時限目(約50分)は、「たいしん」や「家具転倒防止」について理解を深めるため、5~6人のグループで机を囲み、「ストローハウス」を作ります。

個々の作業からチームでの作業へ進展し、その過程で「筋違」の重要さに気がつく生徒も出てきます。長さ25cm程度の太めのストローが柱になり梁になる。そして14倍の長さのストローが「筋違」となる訳です。階数も中には5階建てを超えるハウスも出現、横目で覗きながらのグループ対抗戦です。最後には、生徒自ら机を揺らし、人工的に地震を起こし耐久性を確かめていきます。

この体験学習の感想を、行政が用意したアンケート調査に、家族で話し合い回答してもらい、大人が「た

いしん」や「家具転倒防止」の必要性を再認識し、行動に移すという試みです。

昨年は、その活動が評価され、東京で開催された第6回日本耐震グランプリ優秀賞を、受賞することが出来ました。

今年は既に、7月3日に清須市立春日小学校、5日には古城小学校を終え、講師には副支部長の岡田巖氏と広報委員長の牧野正氏、そして牛田信彦の3人が中心となり活動していきます。

1年間で約600名、2年間で1200名の子供たちの記憶の中にこの体験学習が残り、来るべき巨大地震時に地域のリーダーとなって活躍することを願い、2学期9月から6小学校の出前講座を務めてまいります。

青年委員長挨拶

原 英光



青年委員会は名古屋西支部の45歳以下の会員で構成する委員会です。

見学会・展示会・コンペ参加・イベント協力を主な活動として行っております。

昨年の活動としては、大阪中之島フェスティバルタワー見学、その後自由行動としました。自由行動では皆さんそれぞれに自分好みの建築を廻ら

れたようです。ちなみに私は中之島フェスティバルタワー→インディアンカレー（フェスティバルタワー）→国立国際美術館→graf（インテリアショップ）→リーガロイヤルホテル1階メインラウンジ・リーチバー→D&DEPARTMENT→心齋橋（インテリアショップ・たこ焼き）→住吉の長屋→住吉大社→心齋橋（お好み焼き・うどん）そして551蓬莱（シュウマイ）をお土産に帰省といった楽しい見学会でした。

展示会としては、委員会のみならず美濃路街道界隈を散策し、撮った写真や委員の関わった建物の写真をパネルにして、美濃路街道にあり支部の拠点でもあるみのじの館でパネル展を開催しました。

いろいろな方に来ていただき興味深い話を聞くことができました。

コンペ参加としては、名古屋市の【まちなみデザインセレクション】に応募しました。その中から岡田巖さんの納屋橋のスケッチが市民投票の結果見事【まちなみデザイン20選】に入りました。

その他にも地元のお祭りやイベントに積極的に参加しました。

今後、自分たちの志学向上のためそして先人たちの受け継いできた技術や素材を再考察して、今の暮らしに合うようにデザインし、未来へと繋ぐことができるように活動していきたいと思っております。

ぜひ、気楽にご参加下さい。

新入会員歓迎会の報告

原 英光

平成25年6月29日（土）午後6時30分より、このところ新しいお店も増え、賑わいを取り戻している円頓寺本町商店街にある「スペイン食堂 BARDUFI（バルドゥフィ）」にて開催しました。新入会員の方2人を含む15人の方に参加していただきました。

古い町並みが残る四間道のすぐ近くで昭和の香りの残る円頓寺商店街は、まち歩きをするのに丁度いいところで、週末になるとカメラを持ってまちを散策している人をよく見かけます。

私も四間道・円頓寺は、仕事の途中で珈琲を飲みに来たり、お昼を食べたりと利用頻度が年々向

上中の場所です。今回のお店は、そんな円頓寺商店街にテラス席もあり、お店が増えてきたといっても夜になると少し寂しい雰囲気のある商店街に、楽しい話し声とお店の温かい照明で商店街の雰囲気までも良くしてしまう素敵なお店でした。

皆さんのおかげで楽しい時間が過ごせました。ありがとうございました。



新入会員の抱負 高田淳一郎

今年も暑い夏が到来します。数年前の私は夏の思い出があまりありません。一級建築士の資格取得に数年かかったからです。

毎年友人から夏の思い出を聞かされ、暫く夏の行楽をしていないのに気付かされ、落ち込む時期もありました。

諦めかけたその時、法学部を卒業しながら司法試験に何度不合格しても諦めなかったある政界人のエピソードを妹から聞かされ奮起づけられ合格した事を思い出します。その甲斐あってか、諦めない精神はたくましくなった様な気がします。そしてその姿勢は仕事にも活かされています。

弊社は元来レジャー関係の仕事に特化してきました。この業界のエキスパートとして、クライアントからの信頼を得て、社会で認知されるべく、努力もしてきました。何でも売る百貨店より、専門店を目指してきました。ところがリーマンショックの不況の嵐はレジャー関係にも痛烈に押し寄せ、仕事の受注も激減しました。レジャー関係全面依存では組織が衰退すると懸念し、皆の知恵を借りながら、試行錯誤の結果、新法人を立ち上げ、専門店としてのレジャー関係も維持しつつ、他業種でも対応できる百貨店方式へのシフトを試みました。その宣伝媒体としてホームページの充実を図らなければならないのは必須でした。

一昔前の営業は企業側が経歴書や、パンフレットを持参し、売込むのが主流でしたが、IT社会の現代、状況は激変し、簡単にクライアントの検索がヒットします。つまり『これを調べたい』という目的を持って検索されるわけだから、その期待に呼応するホームページでなければならないと思います。如何にしたら仕事に繋がるホームページといえるのか、閲覧者のニーズに合った情報を表現できるかが、目下の課題です。

私はどんな状況になろうと諦めず実践し続けます。何度も試験に失敗しながらも、何のために建築士になったのかを改めて感じながら邁進していきます。

この秋、論語で言う不惑の年を迎えます。これから、先輩各位の薫陶を仰ぎ社会の為に、少しでもお役に立ちたいと思います。

名古屋西支部 新入会員紹介

地区	氏名	生年	自宅住所
中村	亀田 直章	S48	〒453-0862 名古屋市市中区岩塚一里山1-7 リーデンスクエアア-八田413
清須	今井 淳一	S60	〒501-3267 岐阜県関市星ヶ丘5-9
中村	佐々木 幸	S58	〒480-1154 長久手市塚田225 グラン・コート藤が丘702
中村	神藤 敦子	S36	〒453-0068 名古屋市市中区菊水町1-1-32
西	市原 正人	S36	〒464-0041 名古屋市千種区霞ヶ丘1-4-26
西	高田淳一郎	S48	〒451-0031 名古屋市西區城西5-22-25 グランドマン城西 3B号
西	高田 保 (復活会員)	S24	〒462-0847 名古屋市北区金城1-2 C-501号

山歩き同好会

平成25年5月12日

「小谷山」山行記 山田 正博

戦国大名浅井長政とお市の方の居城があった小谷山(標高495.5M)は琵琶湖の北部に位置し、南には日本100名山の伊吹山、西には北陸自動車道を挟み織田信長が小谷城攻めの陣を構えた虎御前山に山本山そして琵琶湖に浮かぶ竹生島が見られます。

今回は参加者10名、各名養老SAに集合し北陸自動車道長浜ICより15分程で小谷山駐車場に到着。身支度を整え参加者の自己紹介を行う。今回は私の孫(小4)も参加。伊部登山口より林道を横切り、熊出没の注意看板を横目に竹生島が最もよく見える「望空峠」を過ぎると、山道には「番所跡」「お茶屋跡」「首据石」「馬洗い池」、浅井長政が自刃した「赤尾屋敷跡」など史跡説明板が整備されていた。琵琶湖周辺は東山道、北国街道、八風街道があり軍事的に重要な場所としての山城であった。説明板を見ながら戦国時代に思いを寄せ、眼下の田植えが終わった田園風景や登山道に咲く野草や山菜の説明を聞きながら標高396M「山王丸跡」に着く。一息入れて最後の急登に向かう、F夫人は70歳を過ぎてもテニスが趣味で足腰が強く先頭を切って軽々と斜面を登りリーダー的な存在でした。ご主人は偶然にも私の小学校の先輩で50数年前の則武小学校や周辺の様子に話が弾む。時々、木々の間より見える伊吹

山は名古屋方面から見る雄大さはなく、なだらかな女性的な容姿でした。孫は初めての経験で少し緊張している様で、口数が少なく借りてきた猫状態。小谷山山頂で記念写真を撮り昼食。帰りは雑木林の中を呑セミの鳴き声を聞きながら「福寿丸・山崎丸」を経て足取りも軽く麓の清水神社に着く。神社で湧水を飲み全員無事に下山出来た事を感謝。帰路は伊吹山の麓にある道の駅「伊吹の里」で休憩、ソフトクリームを食しながら山菜直売所で物色。正面に見える伊吹山ではカラフルなパラグライダーが鳥のように大空の散策を楽しんでいました。

次回は秋の山行です、皆様も一度参加してみませんか。



初めて山歩きに参加して 山田 遠真(小4)

山は初めてで、とてもきつい所だと思った。最初の坂は雨上がりだったので滑りやすくてちょっと怖い所もありました。

休憩の時に山と田んぼの景色がかすんで見えました。長く急な坂道が続くイメージとは違ってびっくりしました。途中で「カモシカがいるよ」という看板があったからカモシカはこんな所にいるんだ、一度あってみたいなと思いました。ご飯を食べる時はちょっと大きな石があって座ったらお尻が痛くなり新聞紙を敷いて食べました、山から降りて駐車場について、帰りの車の中では疲れたので少し寝ました。



小谷山頂上にて

春夏秋冬

設計事務所として独立して15年目になりました。当初は1人でぼちぼちやっていたと考えていましたが、縁あって1人増え、1人増やして現在は8名の体制で日々過ごしています。これだけの人数になるとただ集まって仕事するだけではもったいなくて、もっと楽しもうと各種イベントを多く企画し、月に最低1回は必ず飲み会

を開催、講演会や講習会の参加、潮干狩りや旅行などは家族も参加してわいわいやっています。また、これからの設計業界を担う人材が多いこともあり、業務のほうでは、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)の手法を取り入れていくことにしました。しかし腕が伴わなければ、すごい道具を持っていても駄目なので、設計力の向上に努力する毎日です。 鏡 哲也

建築基準法解説シリーズ

令第47条の解説

解説担当 馬場 富雄

まず、例によって条文を掲げます。

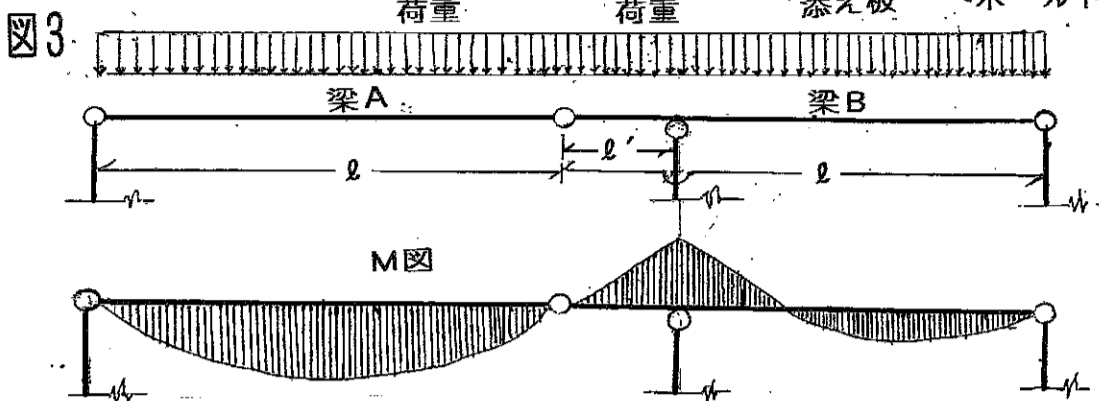
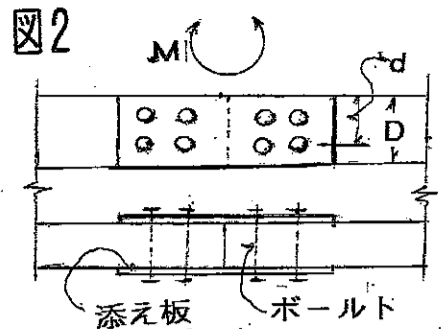
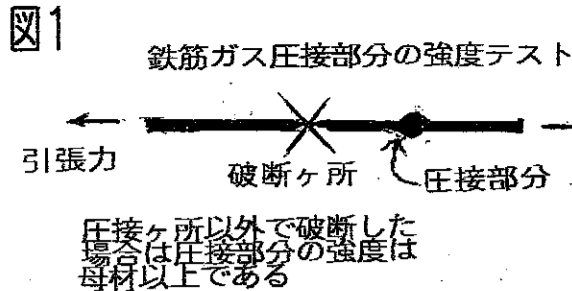
(構造耐力上主要な部分である継手又は仕口)
 第47条 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。この場合において、横架材の丈が大きいこと、柱と鉄骨の横架材とが剛に接合していること等により柱に構造耐力上支障のある局部応力が生ずるおそれがあるときは、当該柱を添木等によって補強しなければならない。

前項の規定によるボルト締には、ボルトの径に応じ有効な大きさと厚さを有する座金を使用しなければならない。

先回は、継ぎ手と仕口の定義について話しましたが、今回は、まず継ぎ手による応力の伝達について解説します。

建物の構造設計の基本ですが、建築基準法第20条により、建物の自重と積載荷重、そして種々の外力に対して安全な構造にせよ、となっています。これによって設計者は建物の設計を開始します。まず各部材の大きさを仮定し、その安全を確かめます。この時必要となるのが各部材に働く応力図です。部材の中間で継ぎ手を設計した場合は、その部材に働いている応力を伝達しないと設計の仮定が狂ってしまい、たいへんなことになります。現在RC造は鑄造式による一体構造ですので継ぎ手はありませんし中に入れる鉄筋もガス圧接で完璧です。(図1参照) 鉄骨造の継ぎ手、仕口は溶接技術の発達とハイテンションボルトの発明により、やはり完璧なものとなっています。本造だけがそのような方法がなく、設計者が継ぎ手の施工方法を指示することが必要です。

それでは、各部材に働く力の種類について復習します。主要なものは4つで、圧縮力、引張力、剪断力、



曲げモーメントです。このような力を伝達するにはどんな継ぎ手にしたらよいか、次回から解説します。圧縮力、引張力、剪断力の伝達はなんとか設計できますが、曲げモーメントを伝達する継ぎ手の設計はとて難物なのです。皆様ご存知のように部材に曲げモーメントが働くと部材断面の中に圧縮力、引張力の働く部分が生じます。この引張部分の伝達がとて難しいのです。両側添板、ボルト締めで設計しても、ボルトの位置が部材断面の中心部に近づき、部材の有効丈が小さくなってしまいます。(図2参照)

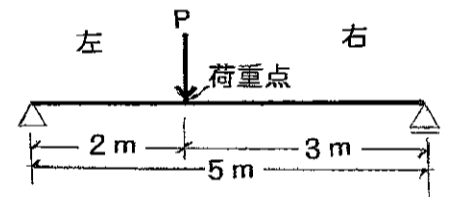
木造の設計でいちばん曲げモーメントのかかるのは、なんといっても2階梁部材です。この2階梁の中間で継ぎ手を設けるような設計をすれば、さきほど解説したように曲げモーメントの完全な伝達方法はありませんから、必ずその部分が梁の弱点になります。なにかの都合で梁に大きな曲げモーメントがかかった場合、その継ぎ手の部分に大きな局部応力が働き、破断して大事故になります。ですから、梁の継ぎ手は極力避けるのが常識です。

では、梁の継ぎ手は絶対にいけないかというところでもありません。この梁の継ぎ手部分をピン構造にして設計する方法があります。図3で説明します。長さ l の長尺梁材2本をピン構造で繋ぎ、それを柱3

本で図示のように支えます。 l' の部分は梁Bの持ち出し梁になります。

この持ち出し部分の長さは荷重状態、梁の断面等より適切な値を設定します。即ちM図は図示のようになります。梁Bの中央曲げモーメントはかえって小さくなります。右側のスパンは $l + l'$ で若干大きく設計できます。これは、ほんの一例ですが、このような設計をする場合は構造計算で十分な安全を確かめてください。

問題；下図の梁の説明で正しいのはどれか。



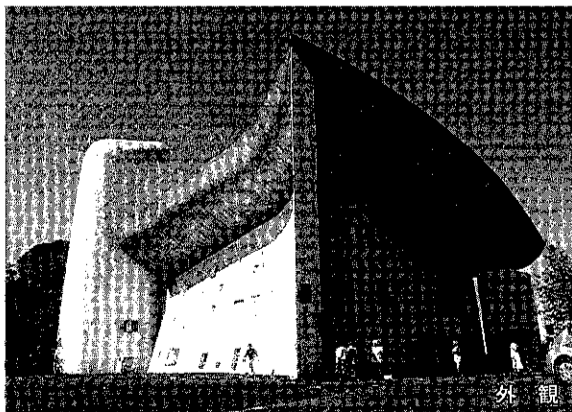
- ① 梁に働く剪断力は荷重点の左側も右側も同じ値である。
- ② 梁に働く剪断力は荷重点の左側の方が右側よりも大きい。
- ③ 梁に働く剪断力は荷重点の右側の方が左側よりも大きい。

コルビジェを訪ねて ②

志賀 勝則

“ロンシャン礼拝堂”

コルビジェ63才（1950年・昭和25年）の作品。現在もカトリックの礼拝堂として使われていて、訪れ



た時も偶然に全国からの巡礼者のミサ中でした。力強く自由な造形は当時世界中の設計者に衝撃を与え、彼の才能の真骨頂を見ることができる。

若き頃の東方旅行での建物の残像が屋根の形へと昇華。依頼主に参考にして欲しいと言われた12世紀ロマネスク“ル・トロネ修道院”の質素で剛健なデザインを見事に具現化している。内部への光の取り入れ手法が特筆で、3つの塔のトップライト



からは官能的な光が射し、壁からは自由な組み合わせのステンドグラスの光が荘厳な宗教空間を醸し出し、時間の経過で変化する。

編集後記

広報渉外委員長として、初めての「めいせい」発行です。私は理系頭の人間で、文章を読むのも書くのも苦手なのですが、広報渉外委員会の諸先輩方に助けていただき、編集作業を進める事ができました。次号からも会員の皆様に愛される「めいせい」を編集していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

牧野 正

訂正とお詫び

前号、めいせい67号(3)面「大阪・中之島フェスティバルタワー見学会」文中に、誤りがありました。『大阪市立愛珠幼稚園は民間では日本最古の幼稚園で』とありますが、『大阪市立愛珠幼稚園は民間の手によって建てられた幼稚園としては日本最古で』と訂正させていただくと共に、お詫び申し上げます。

前広報渉外委員長 森 登

愛知県 平成24年度 1級建築士 設計製図試験

合格者占有率 **No.1** V13

愛知県合格者占有率 愛知県の合格者のおよそ3人に2人は、当学院の現役受講生でした。

65.8%

愛知県合格者264名中、187名が当学院受講生

1級・2級建築士
1級・2級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
宅地建物取引主任者
インテリアコーディネーター

総合資格学院 名古屋校 TEL.052-202-1751

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-2-22 中部資格ビル 1F

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
 TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
 URL http://www.well-on.co.jp/

16190101(03)
JIS10002006090